

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

（令和3年6月3日 午前9時45分）

●議長（佐藤武雄） おはようございます。ご苦労様です。

ただ今の出席議員は12名全員であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。なお、5月よりクールビズになっておりますので、申し伝えます。

本日の議事日程はお手元に配布のとおりであります。

●議長（佐藤武雄） 日程第1、通告による一般質問を行います。質問時間は最大1時間をめどに、質問者、答弁者は進行にご協力をお願いいたします。また、答弁者および質問者の都合により、質問の順序を変更することがありますので、あらかじめご承知願います。なお、質問者と質問者との間に、10分程度の休憩を取ることといたします。

通告の1、森山木の実議員。

- 1 新型コロナワクチン接種について
- 2 入札情報の公開について

議席番号8番・森山木の実議員。

◆8番（森山木の実） おはようございます。議席番号8番・森山木の実です。今日は新型コロナワクチンの接種についてと、あと入札情報の公開についての2点、質問いたします。新型コロナのワクチンにつきましては、メディアでもいろいろといろいろ言われていまして、情報があちこちから入って来るので、かなり混乱した時もあると思います。今日の6月3日の時点での信濃町はどうかという視点でお伺いします。まず今日の状況ですが、6月3日の時点で、信濃町のワクチン接種に関しては、混乱なく進んでいますでしょうか。まずそこからお聞きしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 横川町長

■町長（横川正知） おはようございます。森山木の実議員さんから今まさに、全国的な注目になっております新型コロナウイルスワクチン接種についてのお尋ねでございます。信濃町は5月12日から、ワクチン接種についてスタートしたわけでございます。そういった意味では、当初の計画については、計画どおり進んでいます。更にまた5月26日からは、従前午後の時間帯で60人だったところを、状況を見ながら70人に増やして対応しているということでございます。この関係、当初予約の段階で、75歳以上の皆さん方の電話予約等々でやったわけでございますが、どうしても対象者が多いというような事で、大変なご迷惑をおかけしたということ、反省しております。その方法については、改善をしながら、新たな予約と言いますか、接種日時の指定も含めて対応させていただ

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

いているというところでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） はい。今は大変落ち着いている状態だなとは思っています。去年の5月の10万円の給付金が、これが信濃町早かったんですね。てきばきと。あの調子で行くかなと思ったんだけど、ちょっと大騒ぎになったというのが、残念なことでした。このワクチン接種について、テレビの情報で都会の様子は、まめに出てくるのですけれども、肝心の信濃町の状況がはっきりしない、分からないという声が結構聴かれますので、町としてはそろそろ手探り状態からは抜け出していると思うのですけれども。町の人たちの疑問に対して、今日の情報ですね。先ほども言いましたけれども、今日の状況を確認したいと思ひます。分かることは具体的にお願ひしたい。分からないことは、分からないで結構ですので、お願ひいたします。

まず町長も、一般住民と同じ予約方法ですか。例えば年齢で、いろいろありましたけれども、そこはどうでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 報道では、話題になっている所もあるわけですが、私自身は、前回でしたか、ある議員さんから、「町長先やったらどうか」というようなお話がございました。しかし、現状の中で、一般の皆さん方と同じように、時期が来たら接種を受けたいというふうに思っています。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） 私はもう、町長はさっさとワクチン接種したほうが良いと思ひているのです。わりとお若い部類に入っちゃうのですよね。こういう場合ね。だから私も接種券が来て、申し込んだのですが、まだまだ音沙汰なしなので、だいぶ後になっちゃうかなと思ひているのです。やっぱり町長というのは、重責ですからね。やっぱり早く打った方が、町民も下手な言い訳さえしなければ、町長は責任重いのでやるというのが、町民が納得すればいいじゃないかなあと思うんです。そこのところちょっと考えてみていただければと思ひます。

それと次は、町へのワクチン供給ですが、信濃町の希望者分は必ず供給されますか。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） はい。ワクチンの供給でございますけれども、ワクチンにつきましては、希望者分は必ず供給される予定となっております。当面、国では高齢者

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

の65歳以上分は6月末までに確保すると言っています。そのような中で、町も計画に基づきまして、いわゆるそのワクチン供給システム、国のV-SYSシスというシステムを使いまして、必要分を申し込んでおりまして、そのとおりに供給されてきておりますので、そういう状況だと思えます。その後、高齢者が終わりますと、16歳から64歳までの方のワクチン接種になっていくわけですが、これにつきましても必要分供給されるものと認識をしております。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） 聞くところによりますと、12歳からという話もあるのですが、そのところは、信濃町はどうでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） つい最近、ファイザー社製のワクチンにつきましては、12歳からというのも報道等で流されております。ただ正式な12歳からという通知は、まだ町のほうへは来ていないところでございます。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） 通知が来れば、ワクチンは、その分は補充すると、そういうことでよろしいでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） はい。国のその指示がありますれば、町の方もそのように対応して、12歳以上も接種してまいりたいということでございます。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） では、信濃町では希望者分は、確保できる見込みという認識でよろしいですね。

次なのですけれども、希望者全員、12歳は別としまして、16歳以上の希望者全員が、接種が終わるのは、だいたいいつ頃になるでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） 希望者全員の接種の終了でございますが、現在の計画では、

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

16歳以上を約7000人の人口で、8割の方が接種をするという想定でございます。おおよそ今やっております75歳以上につきましても、約8割の方が希望されているところでございます。接種をしてございますけれども、全体的に終わるのが、今の75歳以上の方は、最初に町長からも、申しあげましたとおり、60人で接種をしていたのですが、もう少しいけるだろうということで、今現在70人に増やしてやっています。それから74歳から65歳までの方でございますけれども、74歳の方は、先ほど10人増やした分は、74歳の方にも通知を差し上げて、74歳の方だけ予約をしていただいて、その方を10人張り付けて、増やして接種をしてございます。73歳以下につきましては、今、病院とも調整を図っておりますけれども、当初90人くらいの予定でいこうかということだったのですが、それではちょっと間に合いませんので、120人に増やして接種をしていきたいということで、今、ほぼ調整を図っているのですけれども、そうしますと、全体が終わるのが11月、早ければ10月下旬に終わるかもわからないのですが、マックス見ますと、11月中というふうになるかと思えます。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） いやあちょっと、私の想像が甘かった。8月には終わるかななんて思っていたのですけれども、だいたいじゃあ10月末から11月ぐらいには希望者全員終わるだろうということによろしいですね。今、予約じゃなくてやっているのは、日時指定で、年齢順に、誕生日順に、日時を取っているという、そういうことだと思います。それならそれで、混乱はなく進んでいくと思います。それで、キャンセルが出た場合の対応なのですけれども、キャンセルが出た場合の対応というのは、当日キャンセルですね、特に。当日キャンセルが出た場合、その人の再予約がまずどうなるか、これを心配する方がいらっしやるので、教えていただきたいのと、これは体調もね、いろいろあると思いますので、当日キャンセルは、だいたいいってことはないと思うんです。その場合の再予約はどうなるかという事で、もう一つ、キャンセルした分は、その日どうなる、どうする、それも合わせてお願いいたします。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） ちょっと大変申し訳ありません。先ほどの答弁の中で、接種の終わる日程なのですが、11月早ければ10月下旬、11月中には終わるだろうというふうに申しあげたのは、町民全員のことでお願いをしたいと思います。高齢者についてだけではないので、よろしくお願ひしたいと思います。それで今のキャンセル待ちのご質問でございますが、当日急遽なんらか、熱が出たとかそういうことで、キャンセルがあった場合ですが、現在1回目をやって、2回目も始まるのですけれども、1回目の予約の方については、もう一度お電話をいただきまして、再予約をしていただいて、接種をお願いをしているところでございます。それから2回目になりますと、今度ちょ

っと難しいのですけれども、1回目から打って3週間空けて、だいたい2回目を打つのですが、その期間があまり空いてはいけないというような事で、キャンセルされた方を、ある程度5人とか10人とかまとめまして、良いところで、そういった方を予約を入れて接種をしてみたいというふうに考えてございます。それからキャンセルされたものを、どういった形で有効利用していくんだというご質問だと思うのですが、現在につきましては、キャンセルが若干出るのですけれども、出た場合は、ワクチンは、病院のコスモス病棟にいらっしゃる患者さんに、事前にもう同意をいただいておりますけれども、接種をさせていただきます。ただ、コスモス病棟の患者さんも、いつまでもいつまでもキャンセル待ちというわけにはいきませんので、そろそろ全員接種していただかないといけないというようなことで、今、準備をしているのが、会場のスタッフに接種していくんだということ。それからもうひとつは、介護職の方々、介護事業所の方々の中にも、泊りをやっている介護事業所は優先して、接種をもうしているのですが、それ以外、デイサービスであるとか通所の職員は、優先順位が高くないというようなことでありますけれども、そういった方も大変大事でございますので、キャンセル待ちの登録をさせていただきます、そのキャンセルのところへ入れて対応してみたいというふうに考えております。それからさらに、73歳から65歳の方については、これから、できれば早めに近々に出したいのですが、予約方法を接種日を指定する方法に代えたのですけれども、その通知を出す中で、例えばこちらから、「キャンセルが出ましたよ。」とうふうに電話をすれば、通常なら15分程度で来ていただける方につきましては、キャンセル待ちの登録をさせていただきます、そうすればワクチンが無駄になりませんので、日時を指定する通知と一緒に、キャンセル待ちの登録もご案内する予定で、今計画しています。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） しつこいようですが、キャンセル待ちの中に町長は、入っていないのですか。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） 町長もキャンセル待ちに登録していただければ、15分程度で来られますので、可能かとは思いますが、それは個人が登録するかしないかの事になりますので、私のほうの回答はそこまでということで、お願いをいたします。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） はい。じゃあ町長の話はこれで終わりにしまして、次は、送迎の方の方法なのですけれども、バスだとかタクシーだとか使っているんじゃないかなと思うのですが、そこを詳しく説明していただきたいのと、まずタクシーの場合だと、何

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

人、定員が4人かな、例えば運転手さんと、あと送迎の、接種を受ける人3人が乗っちゃったりしているのでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） 集団送迎の事でございますけれども、集団送迎につきましては、交通事業者さんをお願いをしております、今ほど申し上げました議員さんがおっしゃられたタクシー会社さんにもお願いをさせていただきますし、旅行者ですかね、その交通の方のマイクロバスを運行している業者にもお願いをさせていただいています。それからそのような中で、マイクロバスの運行業者につきましては、事前にいわゆる送迎の希望を取って、同じような方向の方を固めて、指定日に打っていただくというふうに接種していただく方法なのですが、事前に交通事業者のほうで、ルートを下見をさせていただいて、それで乗せる場所も、安全な場所を考慮して、設定をして通知をさせていただいています。また、保健師もその集団送迎に同乗をして、必要な場合は介助をさせていただいて、やってございます。それからタクシーの場合、どうしても人数が限定されちゃって、マイクロバスだけだとちょっと厳しい場合は、タクシー会社さんをお願いをしています。最初はデマンド式と言いますか、乗り合いのタクシーという考え方で、ワゴン車を想定して、やっていたのですけれども、タクシー会社さんも、ワゴン車の場合もあれば、通常のタクシーを、例えば1台、2台使うとかという形で、そのタクシー会社さんの都合によって変わります。その場合は、やっぱりマックス3人ぐらい乗る場合もあります。そんな形で対応をさせていただいているところでございます。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） 心配されていることは、最後の説明にあったタクシーで3人乗って行くと。これ密じゃないかという声があるんですね。じゃあ窓をガンガンに開けて、走っているのか、それとも換気をちゃんとして走っているのか、それでも密は密だなあという話になっているのですけれども、その対応はどうでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） タクシー会社さんのタクシーも感染予防対策をしてあります、運転席側と後ろの席側のところに、シートが貼ってありまして、いわゆる予防対策がしてございます。例えば前に運転手ともう1人乗ります。後ろに2人乗るという形になるのですけれども、確かに狭くはなるのですが、マスクをしていただいて、あまり会話をしないでいただいて乗っていただくという形になろうと思います。一応そのようなことで、認識をさせていただきます。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） 信濃町の方が、知り合いが隣にいて、黙っているというのは、すごく難しいことだと思うんですね、つい大声でしゃべるといふことも起きるかもしれないので、ちょっとそのところは、心配なのですけれども、今のところは、何も無いということなら、大丈夫だと思うのですけれども、やっぱりそこは、配慮をしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。以上ですね。ワクチンについては、ここでおしまいにして、次の質問にいきたいと思います。

次は入札情報の公開について、お聞きいたします。平成30年の9月会議でしたか、の一般質問でも聞いていますが、その後変わっていないようなのですが、町の事業での入札の結果について、結果は今、町は、信濃町は落札業者名と落札価格など、結果のみをホームページで公開している。そして、また入札の経過、例えば入札に応じた業者全部と事業者名、業者名全部とそれぞれの入札金額、それから辞退した事業者名など、全部を載せる入札経過書というのですか、を窓口で見せてもらえると、そういうことになっていると思いますが、今でもそうだと思うんですね。私は役場の窓口で見る、見られるんだから、それでいいじゃないかということかもしれないのですけれども、私はこれは、前も質問でも言いましたように、やっぱり事業者、入札に応じた業者名全部、それからそれぞれの入札金額、それとまた辞退した業者なども入れて、入札経過書として、ホームページでも公開するべきだと思っております。もちろんほかに公開できる方法があれば、それも利用してほしいと思いますけれども、今日はまずホームページでということで、質問を進めます。特にこれから病院建設という大きな事業が始まります。動く金額も大きくなります。合理的な財政運営を目指す信濃町としましては、誰でもが経過を知ることができるようにするのが、町民益にかなうものではないかと思うわけです。前に質問したときに、町長は、多くの人が必要とするなら、その声に従って対応することが、我々の方でも大事な対応かなというふうにおっしゃったんですよ。おっしゃったんですが、今も同じ考えでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 今、森山議員さんが言われました、私の発言と言いますか、そういうことを言ったんだろうなということを改めて思っているのですが、これはつまり今、入札情報も非公開ではなくて、公開はしているのですよということの前程に立って、そんなお話をさせていただいたというふうに思っております。したがって、その事は、私は特に、個人的に言えば、今の時代ですから、公表すると言ふのは、ひとつのやり方だというふうな考え方は持っています。この具体的に、非常に入札件数等々も多いわけでありまして、事務的な負担と言いますか、そういった事等々も含めて、そして私は、実はこれは勘違いだったかもしれないのですが、例えば落札業者については、しっかりとその事の情報公開はできるかなというふうに思って、いわゆる入札途中経過の問題

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

等々については、企業のひとつは、情報の公開に当たらない部分もあるのかなあといった、ちょっと余計な心配もあつたりしたのですが、どうもそういうことでもないのかなというふうなことでございます。したがって、今後の中で、前回、コンプライアンス、じゃなくてパブリックコメントの基準と言いますか、等々についても、ご提案をいただいたわけですが、それらも含めて、どういうふうに対応していくか、検討を深めてみたいというふうに思います。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） そう言っていたら、質問が早く終わっちゃうのですけれども、ただ、これは希望を持っていいのかなと思って、聞いていたのですけれどもね。今は公開していないとは言っていないんですよ。窓口に行けば、ちゃんと見せてもらえると。見たいという人が、多いか少ないかというのは、閲覧希望の、何て言うのですか、申請書を見れば、結構いるじゃんって思うのですけれどもね。今のところ、そのホームページで公開していないというのは、何か理由があつてホームページで公開していないのでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） はい。事務的なことですので、私のほうでお答えさせていただきたいと思います。ホームページの掲載項目につきましては、町で定めてあります入札等の公表に関する事務取扱要領、ここでどういうものを公開するのだという項目を指定してございます。その指定に基づいて、公開しておりますので、そういう状況でございます。窓口では、その入札経過書を、そのままお見せしておりますので、全ての情報が見れるという事です。以上です。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） 窓口まで行って見たいという人は、だいたいどんな工事を、この工事の入札状況を見たいというわけですね。だけどホームページで見ると、例えば、3月分と言って、だあつと出てきているわけです、ほかの町は。それでまた町の様子もいろいろ見られるなと思うので、是非公開していただきたいのですが、もしさしたる理由がないのだったら、是非ホームページで、そんなに手間かかると思えないのですけれども、お願いしたいと思います。町は、今の町のホームページというのは、なんと、財務書類とか決算統計とか決算カード、これ公開されているのですよ。財務書類は、前に代表監査委員が指摘して、それから公開されるようになったのではないかなと思って、いるのですが、ここ数年は、当初予算案の概要なども載っていますし、そして入湯税の充当状況の公開、こんなのも載っているのですね。ここに至っては、ちょっとこの情報

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

公開の姿勢は、もう感動ものなのですよ、信濃町は大したものだと思って。ただその入札経過書はない。窓口に行かなければだめと。財務諸表とか、多分見る人って、そんなに多くないのですよ。町の入札情報の方が、よっぽど見たい人は多いと思うのですけれども、この町のホームページの、この財務書類とか、財政に関しての公表状態、これを見ると、本当にガラス張り、透明な町政の姿がここに出ているんだなあと思ったこともあるんです。多分ほかでもいろいろあるんだと思うのですけれども、私が見るのはそこだけなのですけどね、いつも。逆にその入札経過を公開するとしたら、メリットはどんなことが考えられますか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） はい。入札情報の公表については、入札の透明性の確保や公正な競争入札の確保を目的として行っておりますので、メリットデメリットということではなく、そういうことを目的として行っているところでございます。以上です。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） 公開はしているというのは、さっきも言ったと思うのですが、ホームページで公開することで、何か良いことが私は、あると思うんですね。これ公開することで、私が今日一番言いたいのは、メリットのひとつとして、町民が町の情報に、気軽に接することができるのと、町政に今以上に興味を持ってもらえるんじゃないかと思うのです。今でも皆さん、かなり町政に関しては興味を持っておられるのですけれども、その時に、情報が簡単に見られるようなシステムになっていれば、もっともっと町政に参加してくる町民が増えるのではないかなあと思っているのです。だからホームページで、気軽に見られるようにしてもらいたいと思っています。先ほども言いましたけれども、これから病院建設という大きな事業が動き始めます。昔は入札の正当性が問題になることも多々あったと記憶しています。今はそのようなことはないとは信じておりますが、憶測からいろいろうわさが、飛び交うこと公開、ホームページで公開することを躊躇することはないと思いますが、先ほど町長が、ちょっと希望的なことをおっしゃっていただいたのですが、そこの何て言うのですかね、躊躇、ちょっと躊躇している感じもありましたので、これから先、「どれホームページで公開してみようかな」と、お思いになったり、今この話の中でしませんか。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 私自身の政治姿勢としても、町の情報については、できる限り情報公開と言いますか、公開をしていくというのが、その姿勢の原点であります。その中で今一点、その入札情報の関係のお話であります。先ほども申し上げたように、これこ

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

うという言い方は、ちょっとあまり良くないかなと思うのですが、事務当局の負担等々も含めて、合理的な公開ができるか、前向きな検討もしていきたいというふうに思います。

●議長（佐藤武雄） 森山議員。

◆8番（森山木の実） 前向きな検討をお願いいたします。ちょっと情報なので、全部調べ切れてないのですが、県内では飯綱町、阿智村、朝日村、須坂市、安曇野市などが、入札経過を公表、ホームページで出しています。例えば朝日村などは、契約金額250万円以上、須坂市は100万円以上など、下限を決めてホームページに出しているんですね。そうするとやっぱり、あんまり細かいものまで出さなくても良いということで、その事務的な負担というのは、ちょっとは軽減されるのではないかなと思うんですね。信濃町で、もし、やっぱり全部の公開が大変なら、例えば何百万円以上とか、下限を決めて公開したら良いのではないかなと思うのです。先ほど町長も大事にしてらっしゃる透明な町政、これを期待するのは、私だけではないと思います。町民全員が、多分、全部が情報公開して、透明なガラス張りの町政であってほしいと思っていると思うんですね。まずはこれから始まる病院建設にあたって、入札経過調書からどんどん町民のテーブルに出していきませんかと提案いたしまして、質問を終わりますが、何か言う事も、もし一言あれば。いいですか。では是非、前向きにとおっしゃっていただいたので、期待して質問を終わります。

●議長（佐藤武雄） 以上で森山木の実議員の一般質問を終わります。
この際10時30分まで暫時休憩といたします。

（午前10時21分 終了）